

2001年8月1日

県民意識調査 子どもとどう向き合う 報告書

(2001年4月20日～5月22日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	5



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

調査の目的

社会で、学校で、家庭で大人・教師・親の世代と子どもの結びつきが大きく揺らいでいる。政治や経済、そして国際関係の枠組みが変化を迫られていることの影響として、免れがたい現実かもしれない。しかしながら、少年犯罪、家庭内暴力、いじめ・不登校といった、次世代から“悲鳴”のように発せられる深刻な事例に直面して、社会全体が手をこまねているのが実情である。

こうした混迷の要因にはなにが隠れているのか、大人の側の問題としてなにがあるのか、社会全体や大人個人としてなすべきことは - さまざまなレベルで子どもとの接点をあらためて点検し、子どもを取り巻く環境を再構築していくために、県民各層の危機感を掘り起こし、こんごの方向性を探る。

調査の設計

調査対象	長野県内に住む 20 歳以上の男女 1000 人
抽出方法	層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	郵送
調査期間	2001 年 4 月 20 日～5 月 22 日
調査地点	17 市 21 町 14 村（計 52 市町村）の 100 地点（1 地点 10 人）

回収結果

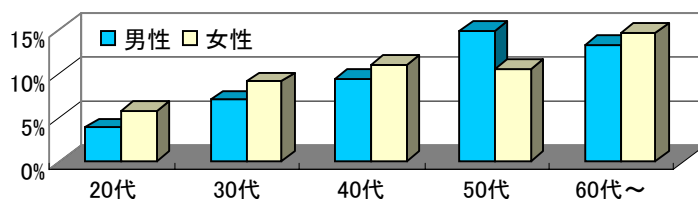
有効回答数(%) 684 人 (68.4%) 男性 333 人・女性 351 人

サンプルの内訳

総サンプル数 684 件

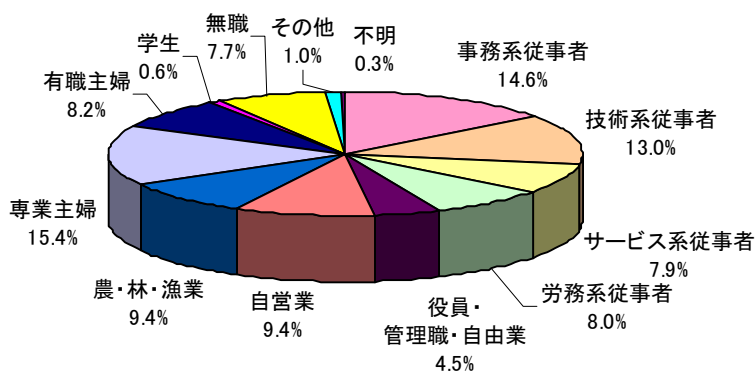
【性別と年代】

	20代	30代	40代	50代	60代～	不明
男性	26	48	65	102	91	1
333人	3.8%	7.0%	9.5%	14.9%	13.3%	0.1%
女性	40	62	76	72	101	0
351人	5.8%	9.1%	11.1%	10.5%	14.8%	0.0%



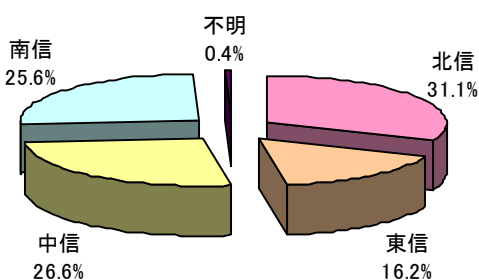
【職業】

事務系従事者	100	14.6%
技術系従事者	89	13.0%
サービス系従事者	54	7.9%
労務系従事者	55	8.0%
役員・管理職・自由業	31	4.5%
自営業	64	9.4%
農・林・漁業	64	9.4%
専業主婦	105	15.4%
有職主婦	56	8.2%
学生	4	0.6%
無職	53	7.7%
その他	7	1.0%
不明	2	0.3%



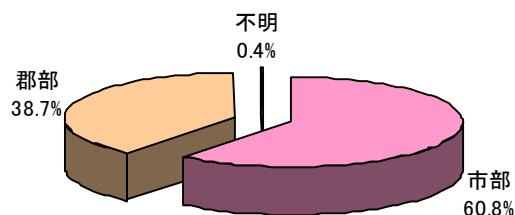
【地域別】

北信	213	31.1%
東信	111	16.2%
中信	182	26.6%
南信	175	25.6%
不明	3	0.4%



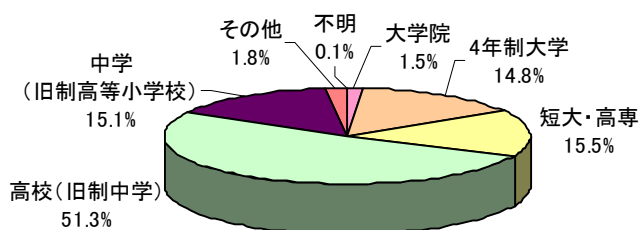
【市郡別】

市部	416	60.8%
郡部	265	38.7%
不明	3	0.4%



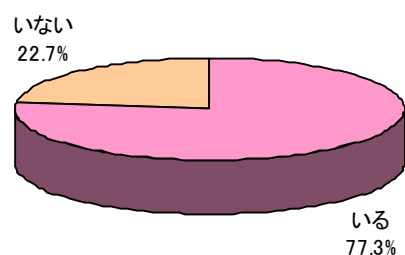
【最終学歴】

大学院	10	1.5%
4年制大学	101	14.8%
短大・高専	106	15.5%
高校(旧制中学)	351	51.3%
中学(旧制高等小学校)	103	15.1%
その他	12	1.8%
不明	1	0.1%



【子供の有無】

いる	529	77.3%
いない	155	22.7%



II 結果の概要

子どもの言動に対する印象

「忍耐力が無い」「感情を抑えられない」「自己中心的」とする回答がいずれも60%前後と多く、このほか「行動に責任を持たない」「外見ばかり気にする」など子どもに対して否定的な選択肢が上位を占めた。「考えをはっきり言う」「協調性がある」といった肯定的な選択肢は下位に並び、明暗がはっきりした結果となった。

「最近の子どもは何を考えているかわからない」という指摘については、「そうは思わない」が39.3%で、「そう思う」の29.4%を約10ポイント上回った。高年齢層では60代以上の39.6%など「そう思う」が多めで、逆に若い層には「そうは思わない」が多くなっている。

子どもとの接し方

「子育てで大切なこと」では、「会話、ふれあいを多く持っている」が74.6%と高い支持を集め、続いて「甘やかしすぎてはいない」が31.1%、「暴力をふるったり、虐待しない」が28.7%などとなっている。

そして、幼稚園や小学校のころは、「『しつけは家庭、勉強は学校』が本来のありかただ」とする人が57.5%と、「そうは思わない」の26.8%に大きな差をつけており、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる」とする人は52.9%を占めている。

ふだんの生活で、子どもとの過ごし方や約束ごとについて「夕食はできる限り子どもと一緒にする」は70%を超えたが「子どもに決まった家事を手伝わせている」や「子どもの就寝時間を決めている」では50%余りにとどまった。女性の方が男性より「決めている」との回答が多く、家庭における子どもとの関わり方では、女性が主導権を握っている様子がうかがえる。

子どもの行為や持ち物

小・中・高校のどの段階ならば子どもの行為や持ち物を自由にさせてもよいかとの設問では、6項目のうち「茶髪」「ピアス」では「認めない」が過半数を占め、抵抗感が強かった。

「携帯電話」は「高校生で認める」が56.4%で「認めない」は30.6%だった。「個人用テレビ」は「認めない」が42.4%、「個室」は「小、中学生で認める」が64.1%、「ゲームセンター」も「高校生で認める」が43.3%と多くなっている。

子どもに対する大人・学校の立場

子どもに対する親・大人の好ましい立場として「親・大人の指導・監督を重んじる」が35.4%、「子どもの自主性を重んじる」が34.9%で並んでおり、年代が高いほど「親・大人の指導・監督」が多くなっている。

教師・学校については「教師・学校の指導・監督を重んじる」が38.3%と、「子どもの自主性を重んじる」の30.0%よりやや多めになった。

学校教育の改革

学級定員を減らすことについては「賛成」が60%を超えた。高校の通学区制手直しでは「賛成」が49.3%とわずかに過半数に届かず、ボランティア活動義務化や義務教育での出席停止処分は「賛成」がいずれも40%前後だった。いずれの項目でも「なんともいえない」が30%前後と多めで、意見を決めかねている層が目立つ。

未成年犯罪に対する規制・報道

ここ数年、未成年による犯罪が相次ぎ凶悪化するなか、少年法の見直しなどの対応策が指摘されているが、刑法の適用年齢引き下げについては「賛成」が76.2%にのぼり、未成年犯罪に対する危機感がそのまま反映されたかたちだ。未成年容疑者の実名報道では「賛成」39.9%、「反対」28.1%、「なんともいえない」31.3%と意見が分かれた。

また、選挙権や運転免許の適用年齢の引き下げには、いずれも「反対」が多数を占めた。

IT化の影響

インターネットなどIT（情報技術）化が進む社会は、「子どもの個々の能力が活かされる機会が広がる」とする人が38%と、「そうは思わない」の33.5%をわずかに上回ったが、半面、「人間関係が希薄になる」とする人が63.2%にもなり、危惧する姿も浮き彫りになっている。そして、「有害情報」や「家の中にいる時間が多くなる」などといった指摘も目立つ。

Ⅲ 単純集計

◆「子どもの考え方わかる」4割、「わからない」を上回る

問1 あなたは「最近の子どもは何を考えているかわからない」といった指摘について、どのよう に受けとめていますか		
そう思う	201	29.4%
そうは思わない	269	39.3%
なんともいえない	205	30.0%
不明	9	1.3%

◆「茶髪」や「ピアス」に抵抗感、「認めない」過半数

問2 あなたは日常、子どもの行為や持ち物についてどの段階では自由にしても良いと考えてい ますか		
A 茶髪		
小学生	18	2.6%
中学生	11	1.6%
高校生	216	31.6%
認めない	396	57.9%
不明	43	6.3%
B 携帯電話		
小学生	18	2.6%
中学生	29	4.2%
高校生	386	56.4%
認めない	209	30.6%
不明	42	6.1%
C 個人用テレビ		
小学生	26	3.8%
中学生	99	14.5%
高校生	220	32.2%
認めない	290	42.4%
不明	49	7.2%
D 個室		
小学生	129	18.9%
中学生	309	45.2%
高校生	160	23.4%
認めない	42	6.1%
不明	44	6.4%
E ゲームセンター		
小学生	23	3.4%
中学生	57	8.3%
高校生	296	43.3%
認めない	260	38.0%
不明	48	7.0%
E ピアス		
小学生	14	2.0%
中学生	9	1.3%
高校生	138	20.2%
認めない	474	69.3%
不明	49	7.2%

◆子どもの印象は「忍耐力ない」「感情抑えられず」「自己中心的」

問3 あなたは、最近の子どもの言動に対して、どのような印象を持っていますか(5つ以内)		
忍耐力がない	423	61.8%
感情を抑えられない	417	61.0%
自己中心的	410	59.9%
自分の行動に責任を持たない	336	49.1%
外見ばかり気にする	269	39.3%
いつも集団で横並びで、群れたがる	265	38.7%
自立心がない	193	28.2%
思いやりがない	162	23.7%
自分の考えをはっきり言う	159	23.2%
ものおじしない	143	20.9%
明るく快活である	109	15.9%
個性的である	98	14.3%
チャレンジ精神がある	59	8.6%
柔軟性がある	40	5.8%
人の言うことを素直に受け入れる	39	5.7%
協調性がある	35	5.1%
その他	10	1.5%
特にない	5	0.7%
不明	15	2.2%

◆「子どもの自主性」と「指導・監督」拮抗～親・大人の立場

問4 あなたは、子どもに対して、親・大人はどのような立場にあるのが好ましいと考えていますか		
子どもの自主性を重んじる	239	34.9%
親・大人の指導・監督を重んじる	242	35.4%
どちらともいえない	195	28.5%
不明	8	1.2%

◆子育ては「会話・ふれあいが大切」が他の項目引き離す

問5 あなたは、子どもを育てることでは、どのようなことが大切だと思いますか(3つ以内)		
子どもとの会話、ふれあいを多く持っている	510	74.6%
子どもを甘やかしすぎてはいない	213	31.1%
子どもに暴力をふるったり、虐待しない	196	28.7%
幼児期から十分しつけている	178	26.0%
父親が子育てに参加している	177	25.9%
食事の時に家族が座る場所が決まっている	160	23.4%
子どもを放任していない	152	22.2%
教育方針は進学中心に偏らない	122	17.8%
親の権威を大事にしている	119	17.4%
確固とした子育ての方針を持っている	49	7.2%
子どもに干渉しない	30	4.4%
子育てに関して十分な知識を持っている	28	4.1%
その他	16	2.3%
とくにない	8	1.2%
不明	16	2.3%

◆「祭りや行事」「スポーツ・野外体験」を優先～親と子の地域活動

問6 子どもが参加する地域活動について、親・大人と一緒にやる取り組みではどんなことを優先するのがよいと思いますか(3つ以内)		
地域の祭りや行事	416	60.8%
スポーツ・野外体験	362	52.9%
農作業や工芸などのものづくり	283	41.4%
ボランティア活動	274	40.1%
PTA・学校の地域行事	214	31.3%
親子連れの見学・旅行	192	28.1%
育成会活動	99	14.5%
読書、音楽などの文化活動	84	12.3%
その他	4	0.6%
地域の活動として必要ない	8	1.2%
不明	10	1.5%

◆子どもには「指導・監督」が「子の自主性」上回る～教師・学校の立場

問7 あなたは、教師及び学校が児童・生徒に対してどのような立場にあるのが望ましいと思いますか		
子どもの自主性を重んじる	205	30.0%
教師・学校の指導・監督を重んじる	262	38.3%
どちらともいえない	208	30.4%
不明	9	1.3%

◆今の学校は「師弟間の信頼薄い」「道徳教育が不十分」などの指摘

問8 あなたは、今の学校の実情をどのように受け止め、問題点があると思いますか(3つ以内)		
教師と児童・生徒の間の信頼が薄れている	311	45.5%
道徳教育が不十分である	202	29.5%
個々の児童・生徒に対する理解が不十分である	189	27.6%
教育が学校任せになっている	169	24.7%
教員の質が低下している	156	22.8%
ある程度の体罰は仕方ない	137	20.0%
進学中心の指導となっている	132	19.3%
授業についていけない児童・生徒が増えている	118	17.3%
1クラスの児童・生徒数が多い	112	16.4%
勉強や部活動などで忙しく、学校生活にゆとりがない	110	16.1%
学校と家庭との連絡・協力が不足している	88	12.9%
非行に対する処置が甘い	86	12.6%
教師間の一致協力が薄れている	46	6.7%
学校の規則など、学校の管理が厳しい	37	5.4%
その他	15	2.2%
とくにない	12	1.8%
不明	17	2.5%

◆高校通学区制手直しに「賛成」は49%、「反対」11%

問9 あなたは、学校教育を改革する動きについて、どう思いますか		
A 学級定員を減らす		
賛成	431	63.0%
反対	54	7.9%
なんともいえない	194	28.4%
不明	5	0.7%
B ボランティア活動の義務化		
賛成	287	42.0%
反対	154	22.5%
なんともいえない	237	34.6%
不明	6	0.9%
C 県内高校の通学区制手直し		
賛成	337	49.3%
反対	78	11.4%
なんともいえない	264	38.6%
不明	5	0.7%
D 義務教育での問題生徒に対する出席停止処分		
賛成	258	37.7%
反対	175	25.6%
なんともいえない	246	36.0%
不明	5	0.7%

◆IT化社会に期待と「人間関係が希薄になる」の懸念も

問10 IT(情報技術)革命の進む社会は、子どもに対してどのような影響があると思いますか		
A 個々の能力が活かされる機会が広がっていく		
そう思う	260	38.0%
そうは思わない	229	33.5%
なんともいえない	191	27.9%
不明	4	0.6%
B 実際に自分で体験することが減り、人間関係が希薄になる		
そう思う	432	63.2%
そうは思わない	125	18.3%
なんともいえない	121	17.7%
不明	6	0.9%

◆子どものパソコン利用で「有害情報」などを心配

問11 あなたは、子どもがパソコンに触れる機会が増えることで、気になることがありますか(2つ以内)		
有害情報を目にする可能性がある	280	40.9%
家の中にいる時間が多くなる	266	38.9%
夜更かしなど時間の使い方が悪くなる	241	35.2%
実際の経験が減る	241	35.2%
機器や通信料でお金がかかりすぎる	151	22.1%
勉強に支障がでる	52	7.6%
その他	16	2.3%
とくにない	32	4.7%
不明	10	1.5%

◆刑法の適用年齢引き下げに「賛成」76%、「反対」8%

問12 あなたは、未成年犯罪に対する規制や報道についてどう思いますか		
A 刑法の適用年齢引き下げ		
賛成	521	76.2%
反対	56	8.2%
なんともいえない	104	15.2%
不明	3	0.4%
B 未成年容疑者の実名報道		
賛成	273	39.9%
反対	192	28.1%
なんともいえない	214	31.3%
不明	5	0.7%

◆運転免許の取得年齢引き下げに「反対」は 80%

問13 あなたは、選挙権や運転免許の適用年齢についてどう思いますか		
A 選挙権の取得年齢引き下げ		
賛成	129	18.9%
反対	363	53.1%
なんともいえない	187	27.3%
不明	5	0.7%
B 運転免許の取得年齢引き下げ		
賛成	44	6.4%
反対	546	79.8%
なんともいえない	89	13.0%
不明	5	0.7%

◆自分の人生は「夢や生きがい」より「安定した生活」

問14 あなたは、自分の人生のあり方は、どのようでありたいと考えていますか		
どちらかといえば安定した生活を優先したい	394	57.6%
どちらかといえば夢や生きがいを優先したい	252	36.8%
その他	12	1.8%
なんともいえない	25	3.7%
不明	1	0.1%

◆子どもの人生は「安定した生活」より「夢や生きがい」を支持

問15 あなたは、次の世代の子どもにどのような人生を歩んでいてほしいと思いますか		
どちらかといえば安定した生活を優先するのがよい	230	33.6%
どちらかといえば夢や生きがいを優先するのがよい	383	56.0%
その他	16	2.3%
なんともいえない	53	7.7%
不明	2	0.3%

◆「しつけは家庭、勉強は学校が本来のありかただ」半数超す

問16 お子さんが幼稚園や小学校のころ、あなたはどのように接しましたか(接したいと思いますか)		
A 遊ぶ時は「友達同士」感覚で接する		
そう思う	294	55.6%
そうは思わない	154	29.1%
どちらともいえない	69	13.0%
不明	12	2.3%
B 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる		
そう思う	280	52.9%
そうは思わない	163	30.8%
どちらともいえない	78	14.7%
不明	8	1.5%
C 自分は教育熱心なタイプだ		
そう思う	71	13.4%
そうは思わない	305	57.7%
どちらともいえない	147	27.8%
不明	6	1.1%
D 「しつけは家庭、勉強は学校」が本来のありかただ		
そう思う	304	57.5%
そうは思わない	142	26.8%
どちらともいえない	76	14.4%
不明	7	1.3%

◆「夕食時間」「子どもの就寝時間」など女性が主導権

問17 あなたの家庭では、子どもとの過ごし方について、約束がありますか		
A 夕食はできる限り子どもと一緒に食べる		
決めている	384	72.6%
決めていない	135	25.5%
不明	10	1.9%
B 子どもに決まった家事を少なくとも一つは手伝わせている		
決めている	275	52.0%
決めていない	244	46.1%
不明	10	1.9%
C 子どもの就寝時間を決めている		
決めている	292	55.2%
決めていない	226	42.7%
不明	11	2.1%

◆「親子同居」「介護」、高齢層で強まる期待感

問18 あなたは、自分と成人した子どもとの暮らしかたについてどのように考えていますか		
A 親子同居		
望む	192	36.3%
望まない	156	29.5%
どちらともいえない	173	32.7%
不明	8	1.5%
B 親の介護		
望む	178	33.6%
望まない	124	23.4%
どちらともいえない	216	40.8%
不明	11	2.1%

◆子どもの「夫婦別姓」を「認めない」56%、「認める」7%

問19 あなたは、自分の子どもの結婚について、どのように思いますか		
A 一人っ子同士の結婚		
認める	293	55.4%
認めない	24	4.5%
なんともいえない	205	38.8%
不明	7	1.3%
B 夫婦別姓		
認める	38	7.2%
認めない	298	56.3%
どちらでもよい	186	35.2%
不明	7	1.3%
C 事実婚		
認める	117	22.1%
認めない	140	26.5%
なんともいえない	258	48.8%
不明	14	2.6%